

経営諮問委員会の設置および開催について

弊社は、グループ経営におけるガバナンス機能の強化を目的として、社外の有識者で構成される経営諮問委員会を平成20年9月24日付で設立し、同日第一回の委員会を開催致しました。

記

1. 経営諮問委員会設置の目的

弊社は、コーポレート・ガバナンス及びコンプライアンス体制の強化を経営の最重要課題として認識し、社外取締役の採用や、コンプライアンス専門担当部署の設置などを行って参りました。この度、経営諮問委員会を設置することにより、業務の執行に当たって、社外有識者の幅広い見地による経営上のアドバイス及び経営監視をいただくことにより、グループ経営における健全性および透明性の向上を目指して参ります。当グループ内では、パロマ工業株式会社製の半密閉式湯沸器による事故および、それに関わる点検・回収活動の再実施などの一連の不祥事の反省を踏まえ、これらの事象の再発防止に向けた社内の諸施策とあわせて、経営諮問委員会による様々な意見をグループ経営に反映することにより、事業を通しての社会貢献活動を積極的に推進するなど、開かれた会社経営を目指して参ります。

2. 委員の構成

<委員長> 村井 勝 (むらい まさる)	グローバル・イノベーターズLLC 業務執行社員 元コンパック株式会社会長
岩本 繁 (いわもと しげる)	公認会計士、日本電信電話株式会社監査役 全国農業協同組合中央会理事監査委員長 元あずさ監査法人理事長
押切 謙徳 (おしきり かねのり)	ブレークモア法律事務所 弁護士 元法務省刑事局参事官

3. 第一回委員会要旨

委員会冒頭において、委員長に村井勝氏を選任。その後、株式会社パロマ代表取締役社長の小林弘明よりパロマグループの概要について説明。次回のテーマを、「開かれた会社とするための、社外および社内とのコミュニケーションのあり方」などとした。

以上